

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
福祉行財政と福祉計画		必修 (社. 精) 選択 (心)	2	3.4	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
梅沢 佳裕	B310	y.umezawa	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p>〈目的〉わが国の社会福祉政策を実践するために福祉行政の執行体制、福祉財源、福祉行政の専門職など構造及び機能の基礎的な知識を身につける。さらに福祉計画の基礎的な知識についても理解することを目的とする。</p> <p>〈概要〉わが国の社会福祉行政、行政組織（国、地方公共団体）と福祉財政、福祉計画の目的と意義について、同時双方向型授業を通じて教科書・添付資料をもとに学習し、その後にフィードバックを行い本講の要点となる内容の理解を深める。</p>				
学習上の助言	福祉行財政と福祉計画をしっかりと理解するためには、事前に教科書を精読し、講義の前週に配布する予習復習プリントに沿って、専門用語や内容について下調べを行ったうえで講義を受けることが望ましい。				
教科書	新・社会福祉士養成講座 10 福祉行財政と福祉計画 第 5 版/編：社会福祉士養成講座編集委員会 /中央法規出版。必要に応じてプリントを配布する。				
参考書	特になし。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	福祉政策を実施する行政と組織（国、地方公共団体）の仕組みを説明できる。		HSU(1)、HSU(3)、WP(1)、WP(2)		
②	財政の仕組み（国、地方公共団体）や運用方法を説明することができる。		WP(1)、WP(2)		
③	各行政レベルでの社会福祉計画策定の意義と考え方が説明できる。		WP(1)、WP(2)		
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間（時間）		
1	オリエンテーション（授業の進め方、評価の説明）の後、福祉行財政と福祉計画①について学習する。	同時双方向型授業	シラバスを読んで全体像を把握してくる。	4	
2	福祉行財政と福祉計画②について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
3	福祉行政① 社会福祉と法制度について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
4	福祉行政② 福祉行政の組織と社会福祉基礎構造について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
5	福祉財源について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
6	福祉行政の組織・団体について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
7	福祉行政の専門職の役割について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
8	福祉計画の目的と意義について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
9	福祉計画の理論と技法① 福祉計画の基本視点と過程について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
10	福祉計画の理論と技法② 福祉計画におけるニーズ把握と評価について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
11	福祉計画の実際① 老人福祉計画・介護保険事業計画について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
12	福祉計画の実際② 障害者計画・障害福祉計画について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
13	福祉計画の実際③ 次世代育成支援行動計画について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
14	福祉計画の実際④ 地域福祉計画について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
15	福祉行財政と福祉計画の全体像と振り返りを行う。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
試	定期試験を実施する。 達成度評価・評価のポイントを参照する。				

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		70	0	0	0	30	100
総合 力 指 標	知識・技術力	50	0	0	0	10	60
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	10	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	5	5
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	5	5
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント			評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法
評価方法	行動目標						
試験	①	✓	期末試験を実施する。期末試験では、①～③について、知識の観点から正誤を判断する問題を出題する。出題方法として、○×式、並びに記述式の問題を出題する。なお、記述式問題では、①～③に関する達成度も総合的に判断できるような出題を行う。				試験の答案用紙は返却しないが、模範解答及び全体の得点分布等の評価結果を公表する。なお、希望者には採点した結果を解説する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	授業終了時に記載してもらおう Teams へのチャット機能を使用した投稿をリアクションペーパーに代替し評価する。				前回のチャット投稿を使い振り返りを実施する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>実践的授業の内容：授業では教科書に記載されている一般的事項を教えつつ、社会福祉士としての教員自身の実例を示し、その実践知と教科書に記載されている理論知を比較しながら学習する。</p> <p>*Teams を使用した同時双方向型授業を行います。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨します。 *今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更があり得ます。</p>							